

「英語の発音」最初に守るべき9つのルール

日本語と英語は、発音のしかたがことなる部分がたくさんあります。今回のプリントの学習で大事なものは、「単語を声に出して読むときは必ず英語として発音する」ということです。カタカナ語をそのまま読んでも英語の発音にはなりません。これまでに発音の指導を受けたり、発音を自分で学んだことがない人は、まずはこの9つのルールを守ることから始めてみてください。ここではそれぞれの音の出し方のくわしい説明はしていません。ネイティブの音源をよく聴いて、それを「まねて」みましょう。

ルール

1 bank（バンク）と bus（バス）の「バ」は、別の音

bank と bus は、どちらも発音の途中で「ア」という音が出てきますが、この「ア」は別の発音をします。bank の方の「ア」は、口をしっかりと横に開いてからあごを下げ、その状態で発音します。一方、bus の方の「ア」は、口をあまり大きく開けずに、口の奥の方で短めに発音します。どちらの「ア」も、日本語の「ア」とは別の音です。

bankと同じ「ア」をふくむ単語… bag cap hand など

busと同じ「ア」をふくむ単語… cup cut run jump など

※アルファベットの[u]は、ローマ字では「ウ」ですが、英語では「ア」と発音することが多いです。

ルール

2 発音の最後（語尾）に注意する … cat の発音の最後は日本語の「ト」ではない。

カタカナ語と英語の発音の大きなちがいのひとつが、「語尾」（ことばの最後の部分）です。「キャット」「ゲット」「ハンド」などを日本語として発音する場合、最後の「ト」や「ド」をしっかりと発音しますが、英語の cat, get, hand の場合、日本語の「ト」や「ド」のような発音はしません。このように、語尾に注意するだけでも発音が英語らしくなります。

※ネイティブの音源をよく聴いてその音をまねてみましょう。

また、ローマ字の「ト」は [to]、「ド」は [do] と書きますが、英語の場合は cat や hand のように語尾が [t] や [d] になります。

※英語は[a, i, u, e, o]以外の文字で終わる単語がたくさんあります。

ローマ字表記と大きくちがう部分なので覚えておきましょう。

ルール

3 hot, box の英語の発音は、「ホット」「ボックス」ではない

hot や box の「o」の文字の部分の発音（アメリカ発音）は、「オ」ではなく、「ア」となります。この「ア」の発音は、日本語の「ア」とはちがう音で、前のページの2種類の「ア」とも同じではありません。
※ネイティブの音源をよく聴いてその音をまねてみましょう。

ルール

4 [r] と [l] の発音

red, run を発音するときの「レ」や「ラ」は、音を出す前に口をすぼめ、舌の先を口の中のどこにもつけずに発音します。（日本語の「ラ行」は、音を出すときに舌の先が上の歯ぐきのうら側に必ずあたります。）

一方、last や long を発音するときの「ラ」や「ロ」は、発音する直前に舌先を上歯ぐきのうら側にしっかりつけます。（日本語の「ラ行」よりも舌先をしっかりつけます。）

ルール

5 [f] と [v] の発音

f と v の文字の部分は上の前歯を下くちびるにあてて発音します。

f が出てくる単語… fan, fox, five など

v が出てくる単語… video, very, five など

6 [sh] と [s] の発音のちがい…sheet (シート・敷^{しき}布^ふ) と seat (シート・席) の「シ」は別の音

sheet の「シ」は、くちびるを前の方に丸めるように出して発音します。
 (「静かにしなさい」の意味の「シーツ!」の口の形だとよく言われます。)
 単語で [sh] の文字が出てくるところは、この口の形で発音します。一方、
 seat の「シ」は次のように発音します。まず、日本語の「サ」を発音する
 とき、音が出る直前に「スツ」と息だけが出る音がしますが、この音を出
 しながら「イ」を言うと、「スイ」という音になります。これは、アルファ
 ベットの c を発音するときの音と同じです。単語で [s] の文字が出てくると
 ころは、この「スツ」という音を出すことが多いです。

[sh] をふくむ単語… ship short push she など

[s] をふくむ単語… six sing sea soft sit (すわる) など

※ she (彼女は) と sea (海) は、発音がちがいます。

※ sea (海)、see (見る・会う)、アルファベットの c は同じ発音です。

7 car (車)、park (公園) などのように、音が伸びる部分で [r] の文字が使われることがある

これを知っておくと、単語を読んだり書いたりするときに役立ちます。

[r] の文字の前に母音字 (a, i, u, e, o) があります。

(例) start (スタート) bird (バード・鳥)

turn (ターン・回す) mother (マザー・母)

work (ワーク・仕事) など

※ 音が伸びている部分の [r] の発音は、どれも同じというわけではあり
 ません。ネイティブの音源をよく聴いてそれをまねてみましょう。

8 [th] の発音

Thank you. (サンキュー) の「サ」、mother (マザー) の「ザ」は、日本語の「サ」や「ザ」とはちがう発音

英語には、[th] をふくむ単語がたくさんあります。「彼ら・彼女ら・それら」を表す they their them theirs など、[th] をふくんでいます。[th] の音は、舌の先を上下の前歯で軽くかんで（…本当に“軽く”です）発音します。（口を少しだけひらいて上下の前歯のすき間に舌先をあてる、という説明もあります。）このとき、息（いき）だけを出すと「スツ」という音になり、音をきちんと出ると「ズツ」という音になります。音を出した直後に舌を引っこめるようにすると音を出しやすくなります。

○「スツ」と息だけを出す [th] の音を使う単語

thank (感謝する) bath (お風呂) mouth (くち) など

○「ズツ」と音を出す [th] の音を使う単語

they (彼らは) this (これ) father (父) mother (母) など

9 [e] で終わって、最後の [e] を発音しない単語

like, make, game, time などの単語は、次のような共通点があります。

①最後の [e] を発音しない。

（例：「like」は、最後の e を発音せず、「lik」の部分が発音します。）

②その前に出てくる母音字 [a, i, u, e, o] の文字の部分は、それぞれ

「エイ」「アイ」「ユー」「イー」「オウ」というように、アルファベットを言うときの発音になる。

（例：「like」は、[li] の部分が「リ」ではなく「ライ」という発音になります。）

（例：「make」は、[ma] の部分が「マ」ではなく「メイ」という発音になります。）

※[e] で終わる英単語がすべてこうした発音ルールになるわけではありません。